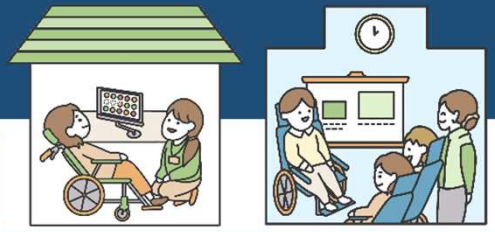


国立大学法人 愛媛大学 (所在地：愛媛県松山市)



事業名

重症心身障害児者等のための訪問カレッジ・オープンカレッジ@愛媛大学

研究テーマ

学校から社会への移行期 ○

生涯の各ライフステージ ○

主な対象

重症心身障害者

事業の趣旨・目的

- 学校卒業後、学習機会の無いまたは少ない重症心身障害者等に対し、**個別の「訪問カレッジ」**及び**集団の「オープンカレッジ」**を実施し、学習機会を提供する。
- 四国内のコーディネーター・指導者、スタッフの養成を目指す。

学習プログラムの内容

- スタッフ養成講座（入門編）の実施
 - ・動画を視聴し、学習するオンライン講座
 - +オンライン会議システムを用いた面談の実施
 - ・修了証書の発行
- オンライン学習コンテンツの作成
 - ・利用者の興味があるテーマを大きく4つに分け、作成
 - *読み聞かせ *音楽 *工作 *お出かけ
 - ・Youtubeで利用者に限定公開配信
 - ・工作キットを送付し、オンライン+実体験の活動を提案
- 障害理解啓発イベントとして、共に学び、生きる共生社会コンファレンス「まるのつどい」開催

事業実施体制・連携先

- 連携協議会：先行実践NPO法人、当事者親の会会長、利用者通院先病院長、子ども療育センター医師、地域相談支援センター相談員、市生涯学習センター所長、大学教員等、15名で構成
- 専任コーディネーター：高等教育機関における障害者学習支援コーディネーター経験者

研究の成果と課題

- 四国各県のボランティアセンター等を通じて広く情報発信を行い、**スタッフ養成講座（入門編）をオンライン開講**した。
 - ・受講希望者9名・修了者7名（R2.2.25時点）
 - ・他県からも受講希望・修了者有
- 受講利用者7名全員から、コロナ禍でも継続可能な学習プログラムの開発・実施希望があり、方法の一つとして、**訪問カレッジオンライン**と称した**学習コンテンツの作成・配信**を行った。
- 課題：地方自治体等と連携したスタッフ養成のモデル作り。愛媛での実践を元に、四国全域での訪問カレッジの実施。

重症心身障害児（SMID児）とは？

・重症の身体障害（1～2級程度）に加えて、重症の知的障害（IQ30以下）をあわせもつ者（厚生労働省の定義）

・障害の程度が極めて重いため、主体的反応が制限されている。周りの少ない人からは反応がない（生い）と誤解され、適切な介入が行われず放置されることもある。

・SMID児の発達（主体的反応）を促すためには、リラックスできる環境作りが重要である。

・リラックスした環境/状況では、主体的行動が観察される。

・家族等と、誰から視察下・受入受容できず拒絶を申し付

・家族が一線でも、知らない人が多い環境、新しい姿勢では拒絶



オンライン学習コンテンツ作成



障害理解啓発イベント まるのつどい

スタッフ養成講座（入門編）開講

その他研究の詳細など

詳細は、障害者の生涯学習支援HP、または苅田研究室Facebookページをご覧ください。

愛媛大学 教育学部 苅田 知則研究室

○HP http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/syogai_gakusyu/



HP



Facebook